

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 6 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 1 1 月 1 0 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	大嶋郁子委員、柿原朋子委員、本多詮明委員、森廣美委員		
欠 席 委 員	小宮山とみ子委員		
事 務 局 員	岡本和晃、千賀義幸、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告 (10月22日開催)</p> <p>2 各講座の報告と計画 [報告] 成人学校「そば打ち体験」、成人学校「滝めぐり」 [計画] 高齢者学級「けやき学級」</p> <p>3 その他 第 5 6 回 関東甲信越静公民館研究大会について、 平成 2 8 年度市民講座「貫井囃子」</p> <p>次回の日程 平成 2 7 年 1 2 月 1 日 (火) 午後 3 時～ 学習室 C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（開催日：平成27年10月22日）

(1) 協議事項

ア（仮称）新福祉社会館建設検討委員会委員の選出について

13人（予定）で構成される（仮称）新福祉社会館建設検討委員会委員に公民館運営審議会からは菅沼七三雄氏を選出した。委員会は11月末から開催予定。

イ 公民館中長期計画策定に向けた進め方について

生涯学習の充実と発展を図ることを基本として中長期計画を策定する。中長期計画の必要性の背景として貫井北センターや東センターの委託、福祉社会館の建て替えに伴う本館仮移転があげられる。

これまでに貫井北分館、東分館をNPO法人へ業務委託を行なったが、委託の方向性について将来的な見通しを示していない状況である。そして、本館の最終的な行き先も不透明であるので、これらを考慮した中長期計画を作成していく。

また、企画政策課でも来年度中に公共施設総合管理計画を策定する予定のため、まずは施設に該当する中長期計画を検討していく。公民館だけではなく、市全体の施設の管理計画も踏まえて、全体を見渡した形で計画を策定する。

スケジュールの案としては、施設関係については来年3月までに一定の考えを示す。その後、公民館のあり方や受益者負担、運営等について、優先順をつけて検討する。遅くとも公民館運営審議会の33期中に中長期計画策定等を全て終了させる予定である。

(2) 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会について

第1回研修会が9月26日に狛江市中央公民館で行われ、57名の参加で無事に終わることができた。小金井市からは3名が出席した。講義のテーマは「市民力を生かした公民館運営、事業の設定」で、まず事例発表を小金井市、国立市、町田市の3名が行なった。その後に講師の神代浩さんが公民館は市民に求められているかという投げかけで講演し、我が国の公民館をめぐる状況、市町村合併などで公民館の数が減少していることなどについてのお話があった。

反省点は、午後から委員部会があり、時間がなく講演と事例発表は無理だったのではないかという意見が多く出たので、その点を踏まえて第2回研修会を開催していく。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から市民講座「江戸川柳から見る江戸庶民の暮らし」の報告を行なったが、公民館運営審議会からは特に質問はなし。

(3) 審議事項

ア (仮称) 新福祉会館建設にかかる公民館としての利活用について

現在までの計画については、新福祉会館には公民館は入らず、福祉に特化したものとして計画されている。しかし、福祉会館と公民館の複合施設としての効果があったのか、なかったのかという点では、効果はあったという考えを市でも示している。当初の建設計画の中には公民館の活動場所は視野に入っていなかったが、公民館活動の利活用も視野に、福祉保健部とも今まで調整している。新福祉会館建設検討委員会に公民館運営審議会の委員にも推薦の依頼があり、引き続き利活用についても調整していく予定である。

イ 来年度の事業について

本館と本町分館の企画実行委員と共に、8月から9月に数回の企画実行委員の会議を開き、来年度の事業について話し合っただけで事業案を作成した。

ウ 公民館事業の計画について

貫井北分館において男女共同参画講座を行なうことについて、4年前に各館にあった男女共同参画講座を全て自主講座として、本館で市民がつくる自主講座の中に男女共同参画講座を設けて、そこで一括管理するという話になった。しかし今回、また分館で男女共同参画講座を行ない出した。

このことについて、公民館運営審議会から、今後は男女共同参画講座についてはどのような方針で開催していくのかとの質問があり、公民館としてはNPOの独自性の中の一つとして男女共同参画講座が出てきている。男女共同参画を総合的に考えて講座が出てきているとか、この講座を行なわないなどの考えを今は持っていない。もし方針や統一的なことを考えるということでご意見があるのであれば、公民館運営審議会において議論していきたいと返答をした。

次回の日程 1月21日(木) 午前10時～ 公民館本館

2 各講座の報告と計画

【報告】

○成人学校「そば打ち体験」

今年度は職員1名、企画実行委員3名で講座を運営したが、当日のスタッフが多過ぎるという意見が受講者から出ている講座もあるので、この講座について来年度は職員1名、企画実行委員2名で講座を運営する。

○成人学校「淹めぐり」

現地は勾配の急な上り坂が多く安全面に不安があったが、事故もなく事業を終えることができた。アンケートの満足度が高いので、また同じコースで講座を行なうことにしても良いと思われる。

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

12月11日の閉講式の余興では受講者が詩吟、南京玉簾、手品、謡曲、ハーブ演奏を行う予定である。

3 その他

○第56回 関東甲信越静公民館研究大会について

11月14日（土）はルネこだいらに午前9時30分に集合とする。
企画実行委員参加者：大嶋郁子、柿原朋子、小宮山とみ子、本多詮明
公民館職員参加者：岡本和晃、永嶋汐美

○平成28年度市民講座「貫井雛子」

平成28年10月に3回の講座を開催予定。この講座の狙いは地元の郷土芸能である貫井雛子を市民の皆さんに詳しく知ってもらうというものである。

次回の予定 12月1日（火）午後3時～ 学習室C